

地域の防災力向上に取り組む現場を訪ねて ～「中部くるまざ会」を開催しました～

交通基盤部 建設支援局技術管理課

平成29年12月1日(金)に「中部くるまざ会」を開催しました。建設技術監理センターは、建設行政に関連して地域の課題に積極的な取組を行っている協働の現場を訪問し、現場見学と意見交換(くるまざ会)を行っています。

今回の訪問先である丸子芹が谷(まりこせりがや)地区は、地域の防災力向上の課題に対し、自主防災会を組織して、県が整備した砂防施設の点検、維持管理、防災訓練等の防災活動に取り組んでいます。また、静岡県と「砂防サポートプログラム」を締結し、施設の点検活動や周辺の草刈等を通じて適正な維持管理に協力しています。

当日は、行政機関やNPO等からの参加者(計17名)が、丸子芹が谷(まりこせりがや)地区の砂防・急傾斜施設を見学し、同地区自治会役員の方から、既往の被害状況、地形的特徴とその対策等の説明を受けました。その後、地元公民館において、地域の防災力向上の取組を続けていくための方策等について、自治会役員の方を交えて意見交換を行いました。

自治会役員の方からは、取組を続けていくコツとして、“負荷をあまりかけずに楽しく防災活動に取り組む”、“地域のコミュニティを大事にし、顔の見える関係を維持していく”、“相談窓口の一本化”などのアドバイスを頂きました。



<自治会役員による現地説明>



<意見交換>